

大草谷津田生きものの里 自然観察会

落ち葉で遊ぼう

戸村真理子（八街市）

日 時：2019年11月17日（日）10:30～12:00

天候：晴れ

参加者：19名（大人13名 子ども6名）

担当指導員：畫間 初枝 戸村真理子

穏やかな絶好の観察日和だが、二度の台風と大雨による樹木の被害は甚大で、果たしてどれ程の落ち葉で遊べるかと心配であった。それでも、長靴姿の親子連れは、これから始まる出会いにわくわくしている様子だ。入り口広場で、挨拶と約束ごとを話した後、まず、葉っぱを付けている木と葉が残っていない木との違いを観察。今日は、いろいろな形や色の落ち葉を袋にいっぱい集めて下の広場で遊ぶことを伝えて出発！ すると、歩き始めてすぐに、「あっ、ギザギザ葉っぱだ！」「これ、つるつるしてる」などの声。自分の顔より大きいヤツデの葉っぱに「わあっ、大きい！」と大喜び。それからも次々に拾った葉を袋に詰めていき、なかなか前に進めない。カナヘビやワラジムシ、バッタ・シュレーゲルアオガエルなど、大好きな生き物も見つかってより楽しくなってきた。

下に降りていくと、カエデやハリギリなど手の形をした葉も落ちていた。最後にマメガキの赤く色づいた葉を拾って谷津田の広場に集合。最初の遊びは「葉っぱのジャンケン」。指導員の掛け声に合わせて、大きい葉っぱ、黄色い葉っぱ、長い葉っぱをそれぞれ見せて比べ合った。他にも 赤い葉・ギザギザの葉・つるつるした葉など色や形の違う葉がたくさんあることに気づいたようだ。次に「落ち葉キャッチ」をして手持ちの葉を増やしてから、二つ目の遊び「葉っぱでお絵かき」。畦道をキャンパスに、鳥やチョウ・かお・クリスマスツリー・ヘビ・いえ・ライオン・オニなど、親も子どもも夢中になって描いていった。途中風が吹いて葉が飛ばされた子もいたが、再び挑戦！ 素敵な絵ができた。出来上がった「葉っぱアート」をカメラに収める人もいた。

次に、みんなが拾った落ち葉を大きなブルーシートに集めた。シートの四隅を子どもたちが持ち、指導員の合図で「風を吹かせて葉っぱを飛ばそう！」と、シートを揺らして落葉を舞い上げらせ、地面に返した。

最後に、「地面に返ったこの落ち葉たちはこの後どうなるのかな？」と投げ掛けて、絵本『おちばのしたをのぞいてみたら・・・』を読んだ。おなじみのダンゴムシやミミズのほかに、目に見えないほどの小さな生き物たちがたくさんいて、落葉の下の世界に興味を持った様子だ。落葉を探したり形を作ったり飛ばしたりして楽しかったと子どもたち。時間が足りなくなるほど夢中になって遊んだ「落ち葉で遊ぼう」のひと時だった。



田んぼの畔に落ち葉でお絵かき